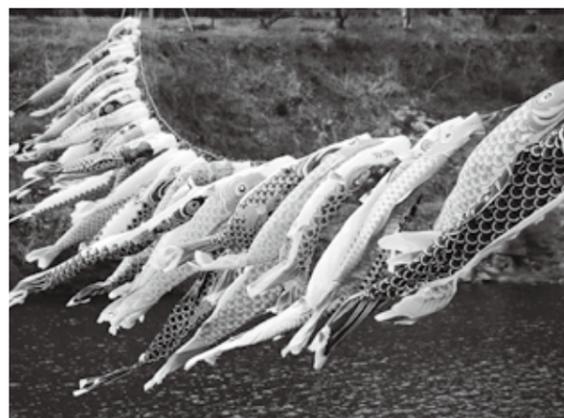


このコーナーは市内のいろいろな出来事を紹介するコーナーです。皆さんの身近な出来事をお知らせください。

◆連絡先
安芸高田市 政策企画課
☎ 42-5627
〒731-0592
安芸高田市吉田町吉田791番地



桜と鯉のぼりのコラボレーション 土師ダム鯉のぼり流し

3月21日(月)晴天の下、土師ダム春の風物詩、70匹の鯉のぼり達が今年も元気に泳いでいます。この事業は平成27年に八千代町振興会連絡協議会が主催者となり、まちの活性化に繋がればと市民の協力を経て20年ぶりの復活に至りました。寄付による鯉のぼりは全国各地から届いており、合計200匹が集まっています。桜の舞う景色の中、優雅に八千代湖を泳ぐ鯉のぼり達の姿は圧巻の景色でした。



第14期から第15期へ交代 八千代の丘美術館 入館作家交代式

4月3日(日)、八千代の美術館に新旧の作家たちが集い、入館作家交代式が行われました。第15期には安芸高田市出身の方が2名選ばれています。「地元で創作活動に励むことができ、可能性とやりがいを持って作品に取り組んでいきます」と期待に胸を膨らませて話をされました。式の後には、第14期作家の展示を順番に解説するギャラリートークが開催され、それぞれの作家から直接話を聞くことができました。



桜満開 第10回郡山桜まつり開催

4月3日(日)、郡山公園を会場に、吉田地区地域振興会の主催による第10回郡山桜まつりが盛大に行われました。吉田町内に春を告げる恒例のまつりですが、昨年まで3回連続雨に見舞われ、実に4年ぶり10回目の節目を迎えることができました。曇り空の中、公園内は満開の桜とともに、来場者はステージ発表、バザーやビンゴゲームなどを楽しみ、終始、春の訪れを満喫されました。



春の一枚写真におさめて 向原かたくり祭り

向原町長田川ノ内にある「かたくりの里」で、春の訪れとともに、恒例の「向原かたくり祭り」が、4月2日(土)から4月10日(日)の期間で行われました。期間中、野菜やおみやげの販売、うどんやセリ入り寿司などの飲食コーナーが設けられ、多くの来場者で賑わいました。開花まで7年かかると言われるかたくり、開花時期も2週間程度と限られ、訪れた人は皆、熱心にレンズをのぞき込み、花と一緒に「桜」を記録におさめていました。



人気の高い「安芸ひろしま武将隊」も参加 郡山城下ぶらり吉田まち歩き2大イベントを開催

郡山城の城下町を舞台に3月12日に「わくわく元就ウォークラリー」、13日に「参加型 戦国甲冑武者行列」が行われました。女性ファンに人気の高い安芸ひろしま武将隊も参加しました。ウォークラリーはヒントを元に12か所のチェックポイントを探すもので、成績優秀者には豪華賞品が贈られました。武者行列では、約40名の頼もしい甲冑毛利武者が、毛利元就を先頭に隊列を組み城下を行進。参加者の中には、甲冑持参の方や、青森・東京・静岡・石川・愛知・福岡など県外からの参加も多く、華やかな行列となりました。沿道から手を振る市民の温かい応援にみなさん満足されていました。



「春神楽」スタート！ 第9回三矢の里神楽共演大会

3月20日(日)、クリスタルアージュのホールにおいて、第9回三矢の里神楽共演大会が開催されました。県内8団体、そして県外からは、島根県の石見神楽細谷社中のゲスト出演がありました。折しも春の暖かい陽気とあわせ、詰めかけた約690人の来場者から立ち上る熱気が会場を包み込みました。神楽ファンは熱く、素晴らしい舞や奏楽に惜しみない拍手を送り、声援を送ります。会場の外では神楽グッズの販売や写真展示が行われ、神楽ファンには堪らない一日でした。



グランプリ受賞団体が迫力の舞を披露 神楽ドーム特別公演

「ひろしま神楽グランプリ2015」でグランプリを受賞した横田神楽団(安芸高田市)と津浪神楽団(北広島町)が、3月27日(日)神楽門前湯治村神楽ドームで、熱い舞いを披露し、詰めかけた神楽ファンを魅了しました。グランプリ受賞演目を含めた2演目が披露され、高い技術を持つ神楽を存分に楽しむことができる特別公演。「悪狐伝中編」では、和尚(道化役)のコミカルな言い回しに会場では笑いの渦が巻き起こり、立ち合いの場面では迫力のある舞に拍手が沸き起こりました。